

国内		県内	
3日	2024年12月の税込4.3%増 国内の消費堅調 財務省は2024年12月の一般会計税収が前年同月比4.3%増の4兆2,204億円だったと発表。国内消費の増加基調に加え、輸入額の増加により税関分の税収が好調だったことが要因。	1日	プロ野球チャンピオン 本県で1軍5球団始動 プロ野球1軍がチャンピオンし、本県では巨人、福岡ソフトバンクホークス、オリックス・バファローズが宮崎市、広島東洋カープと埼玉西武ライオンズが日南市で始動。球春到来に各地が沸き立った。
4日	2024年農産品輸出、初の1.5兆円超え 農林水産省は2024年の農林水産物・食品の輸出額が前年比3.7%増の1兆5,073億円になったと発表。12年連続で過去最高を更新し、初めて1.5兆円台にのせた。	3日	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会 JRに要望 県鉄道整備促進期成同盟会(会長・河野知事)は、JR九州に対して、日南線や吉都線をはじめとする県内鉄道の路線維持や活性化など9項目を求める要望書を提出。
5日	実質賃金3年連続減少 物価上昇が影響 2024年の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上の事業所)によると、物価変動を考慮した1人当たりの実質賃金は、前年比0.2%減で3年連続のマイナス。物価上昇が影響。	6日	宮崎市一ツ葉、木花地区 土地利用の規制緩和 宮崎市は、観光や宿泊関連施設の民間投資を呼び込もうと、4月から一ツ葉、木花両地区で土地利用の規制緩和を始めると発表。観光活性化やにぎわい創出に期待。
10日	2024年の経常黒字、過去最高の29兆2,615億円 2024年の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービス、投資の取引状況を示す経常収支は29兆2,615億円の黒字。黒字幅は前年比29.5%増と2年連続拡大し、過去最大となった。	7日	2024年の宮崎市のぎょうざ年間購入頻度日本一 購入額は全国2位 総務省の2024年の家計調査(2人以上の世帯)によると、ぎょうざの年間購入頻度で、宮崎市は5年連続となる日本一。一方、年間購入額は浜松市に次ぐ2年連続の全国2位。
10日	国の借金、1,317兆円で過去最大 財務省は、国債と借入金、政府短期証券を合計した、いわゆる「国の借金」が2024年12月末時点で1,317兆6,365億円だったと発表。2024年9月末から7兆1,980億円増え、過去最大。	11日	「みやざきライドシェア」開始 県タクシー協会は、加盟社の遊休車両を活用する「みやざきライドシェア」の運用を開始。来月2日までの期間限定の取組みで、プロ野球春季キャンプ中のタクシー不足を補完し、将来的なドライバー確保にも繋げる。
13日	ホンダ、日産統合破談 ホンダと日産自動車は、経営統合に向けた合意の撤回を正式に発表。対等な統合を求める日産と規模で勝るホンダの溝が埋まらず、統合の方式などの条件で折り合わず。	13日	県一般会計6,680億円 若者、女性支援へ積極編成 県は、総額6,680億円の2025年度一般会計当初予算案を公表。2024年度比1.2%増で、3年連続で6,500億円超えとなり、若者、女性支援に重点を置いた編成。
14日	政府備蓄米21万トン 来月放出 政府は、コメ価格の高騰に対処するため、備蓄米を最大21万トン放出すると発表。コメの流通円滑化を目的として備蓄米を放出するのは初めてで、3月半ばから放出を開始。	15日	都城志布志道 県内全通 高速道と接続 都城市と志布志港(鹿児島県志布志市)を結ぶ高規格道路・都城志布志道路のうち、都城市・都城インターチェンジ(IC)一同市・乙房ICが開通。本県側は全線開通し、地域のさらなる発展に期待。
19日	2025年1月の訪日客数、単月として過去最高を更新 日本政府観光局(JNTO)によると、2025年1月の訪日客数は378万1,200人となり、単月として過去最高を更新。春節(旧正月)やウインタースポーツに合わせた旅行需要の高まりなどが要因。	25日	本県の人口 前月比1,341人減少 本県の2025年2月1日時点の推計人口は102万6,874人で、前月比1,341人減少。前月比で人口が増加したのは新富、木城町が各1人で、他の24市町村は減少。